

## ⑦ 三内・横沢地区

### ■森の特徴と地域資源

- ・ トウキョウサンショウウオをはじめ、希少な動植物が生息・生育している。
- ・ 地区内及び周辺には、大悲願寺や三内神社、伊奈石の石切場跡などの歴史・文化資源、化石が発掘できるなどの地質・地形的に価値のある場所がある。
- ・ 横沢入里山保全地域があり、地域の活動団体や各種団体、東京都、市の連携による保全活動が行われ、里山環境の回復が図られている。

### ■森づくりの課題

- ・ 地区内の森や資源を回遊できる散策路の整備が必要
- ・ 周辺資源と連携を図るための市有林の活用の検討が必要
- ・ 横沢入里山保全地域のさらなる活用が必要

### ●地区の現況



横沢・小机林道周辺の森



三内神社 (天竺山山頂)



三内神社 (天竺山山頂) からの眺望



横沢入里山保全地域

## ■森づくりの方針

横沢入里山保全地域での活動や成果を活かし、多様な主体による森づくりや資源を活かした体験学習などを進めます。

大悲願寺や三内神社（眺望）、伊奈石の石切場、地質的に特徴のある場所など、地区内及び近隣の歴史・文化資源を活かして、森の魅力を高めます。

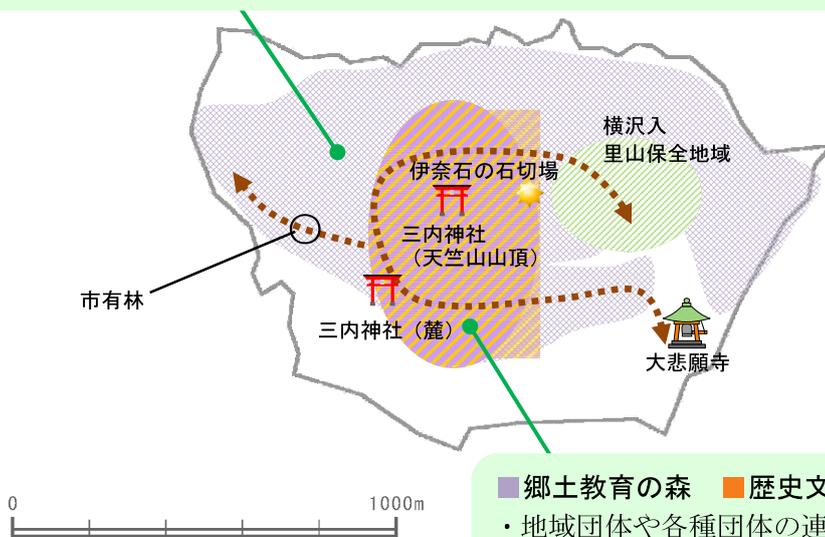
○横沢入里山保全地域の維持管理活動の拡充

○里山・歴史・文化にふれながら回遊できる散策路などの整備

## ●地区の将来イメージ

### ■郷土教育の森

- ・地域団体や各種団体の連携による保全活動の拡充（横沢入里山保全地域）
- ・希少動植物に配慮した森づくり
- ・化石採取などイベントでの活用
- ・各種資源を紹介する看板の設置やガイドの育成
- ・各種資源を巡るコース整備



### ■郷土教育の森 ■歴史文化の森

- ・地域団体や各種団体の連携による保全活動の拡充
- ・希少動植物に配慮した森づくり
- ・各種資源を紹介する看板の設置やガイドの育成
- ・各種資源を巡るコース整備

## 【コラム】横沢入里山保全地域における保全活動

横沢入里山保全地域では、企業・NPO・東京都が連携した東京グリーンシップ・アクションにより、里山保全活動（草刈りや農業体験など）が行われています。

平成20年度（2008年度）からは田んぼの作業がはじまり、横沢自治会をはじめ、地域の自治会有志により発足したNPO法人横沢入タンボの会が、手作業による田植えや稲刈りなどの指導を行っています。



## [コラム]発掘！各地区の特徴的な資源

この構想を策定する過程で再発見・再発掘した、各地区の特徴的な資源をご紹介します。

### 戸倉地区

#### ■倉山活命の秋（戸倉の山が命を救うとき）

天保の飢饉（ききん）の際、他村の人が食料を求め、戸倉に“ところ芋”を掘りにきました。その時、それを追い払おうとした人々を抑え、掘るにまかせた名主の徳を称えた光厳寺僧侶の言葉です。



ところ芋の碑

この逸話は、「ところ芋の碑」に刻まれ、今に伝えられています。

#### ■戸倉小学校（愛鳥モデル校）

昭和42年（1967年）に東京都愛鳥モデル校に指定され、それ以来40年以上にわたり愛鳥教育が続けられています。校地内には野鳥誘致園があり、当時から環境教育の一環として、児童による探鳥会が行われています。

#### ■城山

中世にこの地域の地侍が組織した武州南一揆の根城で、戦国時代後期は檜原城と網代城山の間で狼煙（のろし）をリレーするための拠点であったと考えられています。東の方角から城山を眺めると、左側が絶壁になっているのがわかります。ここには仏像構造線\*と呼ばれる大きな断層が走っており、これに沿って逆沢が流れています。



昭和初期の城山

頂上からは秋川谷とその先の関東平野を一望することができます。

### 小宮地区

#### ■五柱神社の大スギ

五柱神社にそびえる大スギは、幹周りが8m以上もあり、訪れる者を圧倒する存在感を放っています。

このスギは、東京都内で一番大きい（胸高直径が大きい）スギであると言われています。



五柱神社の大スギ

#### ■鍾乳洞と洞窟性昆虫

養沢地区には、長い年月をかけて石灰岩が侵食されてできた鍾乳洞がいくつも見られます。これらの石灰岩は、かつてこの地域にサンゴ礁の海が広がっていたことを示しています。

また、洞内の特殊な環境に適応して目や体色が退化した昆虫が見られます。養沢で初めて発見されたものや地域に固有な種も多く生息しています。

### 深沢地区

#### ■江戸城築城に貢献した真光院

太田道灌による江戸城築城の際に、深沢は多くの木材を提供しました。

その貢献に対して、真光院建立の援助をしてもらったという逸話があります。



真光院

#### ■あじさい山

南沢のあじさい山は、山主さんの尽力により美しい花を咲かせます。周辺の針葉樹林と一体となり創りだされる幻想的な空間は、市の観光スポットになっています。



満開のあじさい山

## 菅生地区

### ■菅生の組立舞台

明治42年(1909年)にはじめて作られた組立式の舞台です。廻り舞台や花道つきの本格的な農村歌舞伎の舞台で、普段は解体されて保存されています。



組立舞台

昭和30年代に一度途絶えてしまいましたが、昭和50年(1975年)に再興され、都の有形民俗文化財に指定されました。

## 草花丘陵

### ■秋川が生んだ「土の巨人」

この地域出身の考古学者塩野半十郎は、関東地方、特に多摩丘陵の遺跡発掘において中心的な役割を果たし、「土の巨人」とも呼ばれる人物です。その晩年に東京国立博物館に発掘品の大半(約1万点)を寄贈しています。

生家の玄関には、「多摩を掘る」と彫られた小さな自然石の石碑が建てられています。

## 秋川・滝山丘陵

### ■東京サマーランドの“秋川千本桜”

1500本の桜が咲き乱れる様子は、あきる野の春の代名詞のひとつとして、親しまれています。



秋川千本桜

### ■ステゴドン・ミエンシスの発掘

網代の御前石の工事現場で、ステゴドン・ミエンシスという巨大なゾウの化石が発掘されました。発掘された化石は、ほぼ1頭分で、日本で見つかったゾウの化石としては、最大級の大きさです。

### ■雨武主神社

雨間地区の氏神として古くから親しまれており、明神山の奥に鎮座する本殿の4つの壁には、飛騨の匠の系譜を引くと称する後藤三次郎らの手による凝った板彫がはめられています。

また、神社の周辺の森はスギ・モミ・ツガなどの高木群からなり、特にツガ林は、東京周辺の丘陵地では他に例のない貴重な針葉樹林として注目されています。



(上) 本殿の彫刻  
(左) ツガの木

## 三内・横沢地区

### ■伊奈石

この地域では、昔から加工しやすい砂岩の石材が産出されました。かつての生活必需品である石臼に使われ、「臼は伊奈臼 新町小麦 ひけばひくほど粉がでる」という、臼挽き歌も残っています。また石仏や建物の土台などにも使われ、石造物は秋川を下る筏に乘せられて、広範囲に流通していました。



伊奈石

石切場の遺構では今でも石を割り採るためのクサビの跡などを見ることができます。

### ■大悲願寺の白萩

伊達政宗が所望したことで知られる大悲願寺の白萩は、9月になると、境内に美しい花を咲かせます。

白萩のお礼にと仙台から贈られた臥竜梅(がりゅうばい)も趣のある小柄な姿を見せてくれます。



大悲願寺の  
白萩